平成 24 年度第 2 回多摩テレビ放送番組審議会議事録

■平成 24 年度放送番組審議会委員

（敬称略）

会　長	金子　春生
副会長	土方　篤
委　員	増田　福夫
委　員	松本　宙士
委　員	畔柳　明秀
委　員	吾孫子　輝一郎
委　員	澤　千登士
委　員	坂本　忠男
委　員	望月　正人
委　員	横山　みずき

■審議会の開催状況

●平成 24 年度第 2 回放送番組審議会

日　　時	平成 25 年 3 月 6 日(水)　午後 2 時 30 分～4 時 30 分	
会　　場	パルテノン多摩　第 2・第 3 会議室	
出席委員（敬称略）	金子春生、増田福夫、吾孫子輝一郎、小島大泰、齊藤仁志、関戸達哉 （以上 6 名）	
議　　事	説明事項	(1)　平成 24 年度の主な活動実績について (2)　平成 25 年度の活動計画（案）について (3)　放送番組審議会での主な意見への対応について (4)　接続世帯数 (5)　コミュニティチャンネルの放送実績
	審議事項	(1)　ダイジェスト版ビデオの視聴 ・TTV-NOW、TTV スペシャル、TAMA のまちネタ、知っ得！行っ得？イベント情報、スクール通信、TAMA の元気印 ・ドキュメンタリー番組（ダイジェスト版） ・番組宣伝

委員意見 （視聴番組について）	・ ドキュメンタリー番組の内容に感動した。私はパルテノン多摩の建設、オープン、運営に数年間携わってきた。オープン前の映像なども含めてまとめられており、本当に感動した。絵は帰りにゆっくり拝見したいと思っている。本当にご苦労があったと思う。今回は短縮版だったが完成版をじっくり見させていただきたいと思う。 ・ 多摩テレビでゴルフの番組をやっているのは気づかなかった。ゴルフは好きなので、残念だ。番組を大きく宣伝してもらえたら気がついたのだと思う。 私は防犯関係の活動を行っているが、多摩中央警察署・多摩稲城防犯協会の取り組みを取り上げていただき、とてもありがたい。番組の内容は良いので色々な角度で宣伝して、大勢の人に見てもらいたいと思った。 ・ 「TAMA のまちネタ」でお店のレポートを行っていたが、非常に身近に感じられて、番組の切り口が市民としても直感的に「行ってみたいな」と思えた。強いていえば、１つの店舗をじっくりとクローズアップしていたので、良い意味でも悪い意味でも分かりすぎてしまって「行く」・「行かない」がはっきり判断できてしまう。１個人の感想だが、地域のグルメはとても身近な話題として興味深いと思う。 ・ 「覆面マニア」を子どもたちが見ていたが、映像の内容として小さい子どもに対して、やや不適切な映像があり、家内から「番組を変えて」という指摘があった。ターゲットの話につながると思うが、色々なコミュニティチャンネルのなかで、自分は常にどの番組を追い続ければよいのか、指向性が分かれてしまうといったところで、自分としては紐付けしづらかった。 ・ コミュティチャンネルを通じて、非常に多くの地域文化や様々な情報が提供されているが、こういった番組があるということを小・中学生に知ってもらいたいと思った。これらの番組が学校の授業などで使われたりすることはあるのか、質問したい。 ・ タイムリーに番組を教材として使うことは、学校現場としては難しい。アーカイブとして番組が整理され、学校側の視聴環境が整えば子どもたちにとって良い教材になるのではないかと感じた。道徳・社会・理科などで使える可能性はおおいにあると思う。こういったことを窓口にすれば、子どもたちを通じて大人にも広がると思う。今日、番組を見させていただいて、内容も豊富で良いものもあると思うので、子どもたちに見せたいと私も感じた。

	・ 今後はアーカイブとして、様々な用途に使用される事があるということを前提に番組の内容を充実させることが大切ではないか。 ・ タイムリーでなくてもいい。スクール通信はよくやっているので、もっと学校で見て欲しい。 ・ 仕事柄、インターネットに密接に関わっている。この業界の中で非常に注目されているのが、スマートフォンやタブレットといった端末で、情報をうけとる側のハードウェアがどんどん変化していっている。今のところ、多摩テレビのホームページはそういった端末の画面サイズに対応していないと思うが、今後は対応できるように検討していただきたい。 ・ 動画で過去の番組を見てみたいと思うので、今後そういったものが見られるようになると、情報を受け取る側としては利便性が高くなると感じた。 ・ 多摩には取り上げるべき題材が沢山ある。番組を見て、これらが丁寧に取り上げられ、また深く掘り下げて制作していると見受けられる。ひとつひとつじっくり見ていると面白いという気はする。番組に問題は無いと思う。問題はあまり見られていないこと。とても残念に思う。 ・ 民放の番組に比べて作りがおとなしいと感じる。自分は落ち着いた印象を受けて良いと感じるが、出かけに家族に聞いてみると、ザッピングの途中でコミュニティチャンネルを見ることはあるが、すすんで１１１ch を選局することは無いと言っていた。目がとどまらないという点では、少し派手さが足りないのではないか。 ・ 個人的には、多摩市諏訪で大規模な建て替えが行われているが、取り上げられていないのが残念に思う。 ・ ドキュメンタリー番組は、とても感動した。イベントとしては知っていたが、実際にどのような内容で行われたのかということや、完成した作品が飾られていることを知らなかったので、見に行こうという気になった。 ・ レギュラーの番組も面白いが、こういったイベント性のあるものというのは、目を引きやすいし、興味深く拝見した。内容としても多摩に密着していて、住んでいる者としてはとても誇りに思えるし、歴史を感じられるものでもあると思う。実際に完成した作品を見に行けるところも素晴らしいと思う。ナレーションもとても聞きやすかったし、テロップも分かりやすく、番組に引き込まれた。制作するのはとても大変だと思うが、もっとこういったドキュメンタリー番組を見てみたいと率直に思った。

	・ 文字テロップに関しては、放送法でも体の不自由な方に対応した対処ということで、できるだけ表示するようになっている。素晴らしいアレンジが施されていたと感じる。今後ほかの番組でもできるだけ行われていくのも１つの方法だと思う。これに関連して気づいたことが、短い番組はすぐに何が放送されているのかが分かるが、放送時間が長いものは、これが何の番組なのか視聴者に理解しづらい。画面の隅に、番組のタイトルを時々でもよいので挿入すると視聴機会を増やす可能性につながるのではないか。 ・ ジュニアジョギングスクールを NOW で取り上げてもらって、ありがとうございます。地域のテレビを超えた話になってしまうが、NHK の番組でテレビを見る人が少なくなっていると言っていた。若い人は１日テレビを見ない人も増えているという話もあった。様々な情報をネットから得ているということだった。こういったネット世代に対応した内容・放送手段の番組も考えていかないといけないのではないか。NHK はネットの動画を番組で写している。地域のテレビは、そういったことを強みにしていける部分があるのではないかと思う。いいものを作っているのに見られていない。何とかしないと。 ・ NHK などの番組では FAX や E メールなどを使って視聴者から意見をとって、即時に流している。全国放送でこのようことが行われているということは、地域放送ではもっと親しみをもって期待されているのかもしれないし、有効な内容を放送できるのかもしれない。 ・ 平和について子どもたちに話をしてくれと言われて、八王子の戦争の映像を YouTube で検索していたら、多摩テレビで放送された中央大学の学生が制作した番組があった。良い番組は沢山あるので視聴機会が増えるような告知・宣伝の方法を検討してもらいたい。見る側としては、自分たちの身近で切実な問題として起こっていることは情報として知りたい。切実な問題は、作り手としては、なかなか難しいと思うが、こういった番組を作っていくと、見たいと思うのではないかと感じた。 ・ 多摩テレビのエリア内のお店の CM というのを、商業振興の観点から行えないか。時間枠の関係もあるので難しい面があり、また、お店を紹介するにあたり、どのように取り扱うかなど、問題はあると思うが、テレビ局としても収入につながると思うので、可能であれば検討してもよいのではないか。

	・　長いテレビの歴史の中で、利用者の変化を見ると「聞く」→「見る」→「撮る」→「参加する」というふうに変化してきていると思う。地域番組は「参加する」ということが、比較的やりやすい面もある。こういったことを時代の流れの中で活かすという視点で、情報の収集・番組制作を考えるのも時代的な動きではないかという気がする。 ・　モニターは定期的に実施して、生の声を取り入れるようにしたら良いと思う。１００名は無理でも、できれば５０～６０名は欲しい。また、中学生などにはスタジオなどの設備見学を実施するとよいと思う。